

平成26年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	田中、島田
全体計画						経費区分		-		内線	3645・3646
事務事業名	4298 健全育成推進事業										
所 属	300200 教育委員会事務局・子ども課										
施 策	02010800 児童・青少年健全育成の推進										
予算科目	会計	01 一般会計									
	科目	100606 教育費・社会教育費・児童青少年総合対策費									
	事業	010000 健全育成推進事業									
事業目的						事業概要・効果					
未来を担う児童・青少年が自主性や社会性、協調性を身につけ、個性豊かにたくましく成長するため、子ども会・育成会を中心とする地域活動を支援するとともに、子育てセミナーや「家庭の日」普及実践活動を行い、家庭教育力の向上を図る。						家庭・地域の教育力を向上させるため保護者など大人を対象にした「子育てセミナー」を開催。 子どもたちの手による子ども会活動への支援。 育成会活動への支援。 児童・少年を対象としたスポーツ大会の開催。 少年・ジュニアリーダー養成研修会を行い、次の地域子ども会のリーダー（子ども会の役員など）となる子どもたちを養成する。					

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
平成24年度 実績	平成25年度 実績
子育てセミナーの開催、子ども会長会、子どもフェスティバルの開催、「家庭の日」作文・ポスター応募、少年球技大会の開催、少年・ジュニアリーダー研修の実施	子育てセミナーの開催、子ども会長会、子どもフェスティバルの開催、「家庭の日」作文・ポスター応募、少年球技大会の開催、少年・ジュニアリーダー研修の実施
平成26年度 予定	平成27年度 予定
子育てセミナーの開催、子ども会長会、子どもフェスティバルの開催、「家庭の日」作文・ポスター応募、少年球技大会の開催、少年・ジュニアリーダー研修の実施	

指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度 目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度 目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度 目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		平成25年度 決 算	平成26年度 予 算
事業費		9,293	9,426
特定 財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		9,293	9,426
人員数 (人)	正規職員	0.8	0.9
	嘱託職員	0.7	0.6
	臨時職員	0.0	0.0
人 員 コスト	正規職員	5,486.4	6,172.2
	嘱託職員	1,907.5	1,635.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	7,393.9	7,807.2
市民一人当たりの経費		0.3	0.3
総額		16,686.9	17,233.2

(単位：千円)

平成25年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	640	子育てセミナー講師謝礼 少年球技大会関係者謝礼
11節 需用費	542	消耗品費、会議等食糧費、資料・チラシ印刷代
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	7,916	各町育成会活動交付金、県・地方子ども会負担金、運動施設整備補助金
その他	195	

(単位：千円)

平成26年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	648	子育てセミナー講師謝礼 少年球技大会関係者謝礼
11節 需用費	632	消耗品費、会議等食糧費、資料・チラシ印刷代
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	7,773	各町育成会活動交付金、県・地方子ども会負担金
その他	373	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	青少年の健全育成は全国的な課題	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	効果的な有効策は見当たらない。 地域・学校・行政などが一体的になり大人の責任として事業に取り組む環境作りが必要	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	やや悪化
評価コメント	少子化の影響で各町育成会活動が停滞しつつある中で、活動自体を縮小することができない。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

少子化や多様化する子育て環境の影響で町ごとの育成会、子ども会活動が停滞し子育てセミナーなどの一会場あたりの参加者の減少している。
セミナーについては保育所単位での開催に力を入れるなどしている。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>少子化に加え、家庭・地域での子育て力の低下、スマホ普及によるコミュニケーション不足や犯罪被害の危険など、子どもの健やかな成長を妨げる社会構造のなかで、子どもたち自身の成長と、見守る大人の教育力の双方の充実を図りたい。</p>		<p>核家族化や少子化に伴う人間関係の希薄化や家庭・地域の教育力や大人社会の規範意識の低下など青少年を取り巻く環境が変わってきているなかで、今後も継続した事業実施が必要である</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	